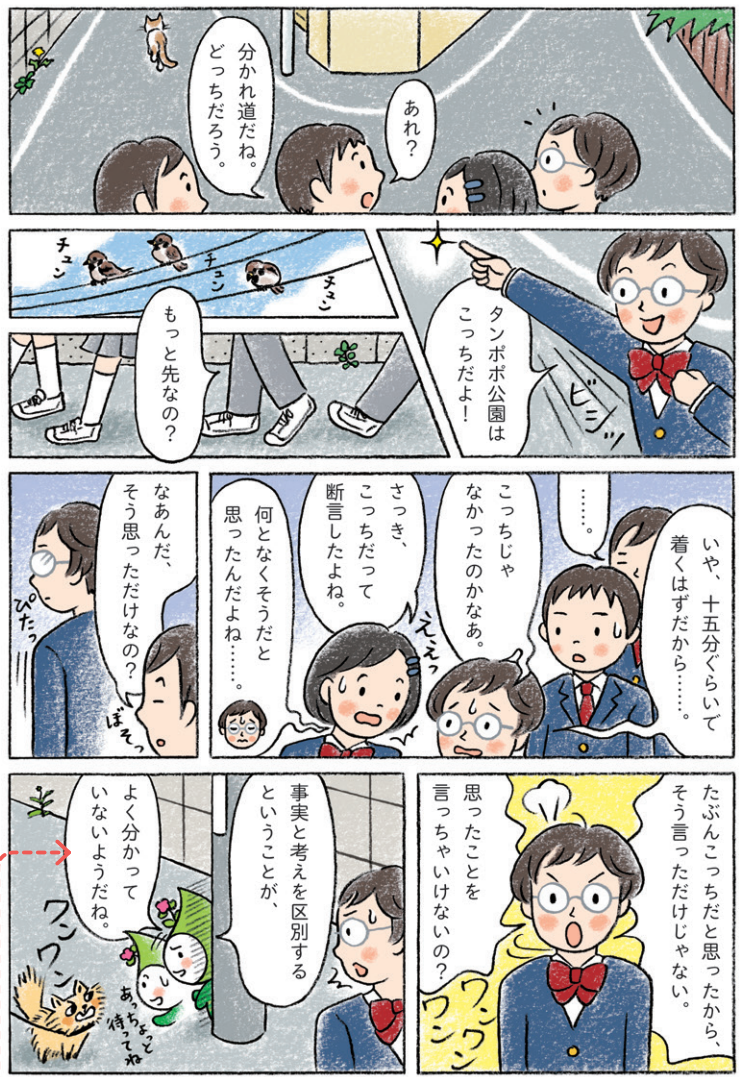


学びの扉 事実と考えを区別する



個性豊かな生徒たちの、名前とちよこつとメモを掲載。

最後のコマには、含みのあるコトハのせりふが。答え(課題解決)は、コトハが誘導する「学びを支える言葉の力」で。

日常生活でありがちな、「言葉の力」に関するつまずきを漫画に。主体的に課題を発見。

「言葉の力」が身につく仕組み

事実と考えを区別する (学びの扉)
「事実と考えを区別する」の漫画では、理奈さんが考えを事実のように述べてしまったことを発端に、言い争いが始まります。

パンフレット本体のp.6もご覧ください。

この資料は、令和3年度中学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

漫画で発見した課題を、「基礎編」学びを支える言葉の力で解決。

事実と考えを区別する

学びを支える言葉の力
論理的な言葉の力——分析する力
一年 事実と考えを区別する
二年 論証の説得力を
三年 論理的に読む

事実と考え

考えよう
事実と考えがどう違うのかを理解しよう。そして、事実と考えを区別しないかという点が困るか、考えよう。

「考えよう」で課題を確認。

問題 次の高志さんの発言で、①②はそれぞれ高志さんが事実として述べているのか、考えてみよう。
① 駅前には自転車がたくさん置かれています。これはきつと通勤や通学の人が置いていくのでしよう。でも、駅の隣には駐輪場があります。だから、自転車はその駐輪場に置くべきだと思ひます。

事実
① 駅前に自転車がたくさん置かれています。
② 駅の隣には駐輪場があります。

考え
① きつと通勤や通学の人が置いていくのでしよう。
② 自転車は駐輪場に置くべきだと思ひます。

身近な具体例で考える。

吹き出し(対話)で分かりやすく。漫画にも登場した生徒たちが活躍。

ポイント

「ポイント」で重要事項を確認。

高志さんが確かなことだと思ひているのはどれだろう。そして、高志さんがまだ確かではないと思ひているのはどれだろうか。

推測と意見
考えよう
ほかの人と考えが違つたときにどうすればよいのかを考え、推測と意見の違いを理解しよう。

推測と意見

「推測」は、もつと話し合おう。

まず、④「きつと通勤や通学の人が置いていくのでしよう。」について考えてみよう。この考えに賛成しない人がいたら、どうすればよいだろう。例えば、高志さんと京子さんで考えが分かれたとしよう。

基礎編

この場合は、どういう人たちが駅前に自転車を置いていくのか、更に調べて事実を確かめる必要がある。このように、まだ確かめられていない事実についていらない事実について自分の考えを述べるとき、その考えは推測とよばれる。では、⑤「自転車は駐輪場に置くべきだ。」という考えの場合はどうだろうか。

推測
④ 駅前の自転車は、きつと通勤や通学の人が置いていくのでしよう。
⑤ 自転車は駐輪場に置くべきだと思ひます。……意見

意見が分かれたときには、単純にどちらかが誤つてはいない場合がある。例えば、「外来語はあまり使わないほうがよい。」という意見と、「外来語は積極的に使つたほうがよい。」という意見では、両方に正しいところが含まれていて可能性がある。だから、意見が分かれた場合は話し合う必要がある。

ポイント②
推測なら、もつと調べよう。
意見なら、もつと話し合おう。

ここまでのポイントをまとめてみよう。
事実……確かなこと
推測……まだ確かめられていない事実についての考え
意見……ある事柄をよと思ひようかどうか
↓もつと話し合おう

文章を読む場合には、更に調べることはできるけれど、筆者と話し合うことはできない場合が多い。しかし、そのときでも、筆者が意見を述べている場合には、事実としてではなく、あくまでも一つの意見として受け止めよう。そして、自分と意見が違う場合には、筆者と話し合うよな気持ちで読んでみよう。

「生活への広がり」には、学んだことを生かせる。他教科の学習や生活の場面を、「コマ漫画」で例示。

つながる・広がる
学習のつながり
私のタンポポ研究(97ページ)
根拠を明確にして書く(107ページ)
中心を明確にして話そう(112ページ)
話 ニュースの見方を考えよう(184ページ)

生活への広がり
ニュース番組のコメントを聞く
……するべきです。

事実と考えを区別して話し合う
ヨーロッパはEUになって発展したから……

事実と考えを区別する → 私のタンポポ研究
基礎編「事実と考えを区別する」で学んだことは、事実と考えを区別して読んだり、書いたり、話したりする活動に生きてきます。本編の漫画の後には、最も関連の深い「私のタンポポ研究」が続きます。

なぜ、基礎編「学びを支える言葉の力」が効果的なのか
中学1年では、事実と考えとの関係を捉えて読んだり、書いたり、話したりすることを学びます。しかし、そもそも「事実」や「考え」とは何かを理解できていなければ、関係を捉えることもできません。基礎編「学びを支える言葉の力」は、そうした基礎的な資質・能力を扱っているのです。

事実と考えを区別する (【基礎編】学びを支える言葉の力)
基礎編「事実と考えを区別する」では、「事実」とは何か、「考え」とは何か、なぜ「事実」と「考え」を区別しなければならないのかを、具体例とその解説を通して学んでいきます。

基礎編 「学びを支える言葉の力」の扱い方

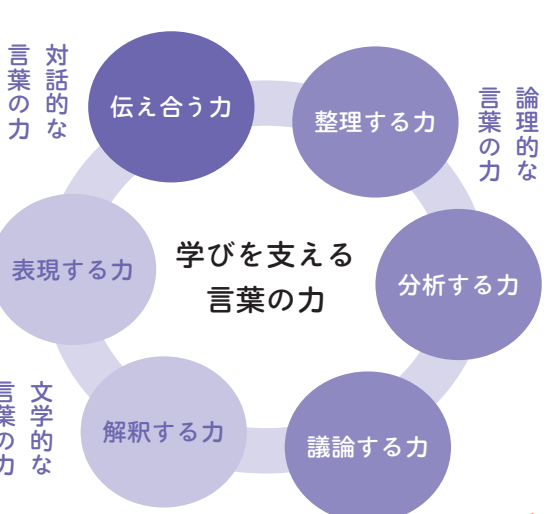
導入「学びの扉」から基礎編「学びを支える言葉の力」へ、そして続く本編の三領域の教材へ、という順序で学習するのが最も効果的です。

一方で、先に基礎編「学びを支える言葉の力」の全教材をひととおり学習し、その後本編の三領域の教材を学習する際に、適宜振り返るとい扱い方もできます。

また、漫画で導入したり、吹き出しや図解を用いたりして、生徒が興味を持って、一人で読み進めることができるようにしていますので、家庭での予習として扱っても可能です。



「学びを支える言葉の力」の6系統



論理的思考力の系統だけでなく、感性・情緒の系統やコミュニケーションの系統もあるよ。



読む ↓ 書く ↓ 話す・聞く

同じまとまりの中の「読む」「書く」「話す・聞く」教材は、緩やかに関連しています。前の教材で身につけた「言葉の力」を生かしながら、新たな「言葉の力」を身につけていきます。

例えば、「事実と考えを区別する」と「私のタンポポ研究」での、事実と考えとの関係の学習を踏まえて、次の「根拠を挙げて考えを述べる」と「根拠を明確にして書く」では、根拠を挙げて意見文を書くことを学んでいきます。



「読む」の学習の流れ

- 1 読者の立場から読み取る
- 2 文章の構造や表現形式を読み取る
- 3 文章の意図や感情を読み取る
- 4 スピーチや説明文を読み取る

書く

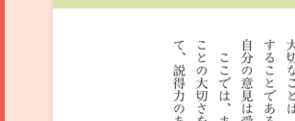
「事実と考えとの関係」や「根拠」についての学びを生かして、スピーチの学習へ。

「根拠を明確にして話そう」

「根拠」の定義

「根拠」の定義

「根拠」の定義



「書く」の学習の流れ

- 1 根拠を明確にして書く
- 2 根拠を明確にして書く
- 3 根拠を明確にして書く
- 4 スピーチや説明文を書く

話す・聞く

「根拠を明確にして話そう」

「話す・聞く」の学習の流れ

- 1 相手の立場から話し取る
- 2 相手の意見や感情を読み取る
- 3 相手の意見や感情を読み取る
- 4 スピーチや説明文を話す



「話す・聞く」の学習の流れ

- 1 相手の立場から話し取る
- 2 相手の意見や感情を読み取る
- 3 相手の意見や感情を読み取る
- 4 スピーチや説明文を話す



学びの扉

「根拠を挙げて考えを述べる」

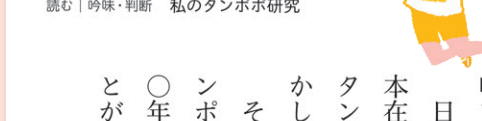
「根拠を挙げて考えを述べる」

「根拠を挙げて考えを述べる」

読む

「読む」の学習の流れ

- 1 読者の立場から読み取る
- 2 文章の構造や表現形式を読み取る
- 3 文章の意図や感情を読み取る
- 4 スピーチや説明文を読み取る



書く

「書く」の学習の流れ

- 1 根拠を明確にして書く
- 2 根拠を明確にして書く
- 3 根拠を明確にして書く
- 4 スピーチや説明文を書く



話す・聞く

「話す・聞く」の学習の流れ

- 1 相手の立場から話し取る
- 2 相手の意見や感情を読み取る
- 3 相手の意見や感情を読み取る
- 4 スピーチや説明文を話す



読む

「読む」の学習の流れ

- 1 読者の立場から読み取る
- 2 文章の構造や表現形式を読み取る
- 3 文章の意図や感情を読み取る
- 4 スピーチや説明文を読み取る

読む

「読む」の学習の流れ

- 1 読者の立場から読み取る
- 2 文章の構造や表現形式を読み取る
- 3 文章の意図や感情を読み取る
- 4 スピーチや説明文を読み取る

書く

「書く」の学習の流れ

- 1 根拠を明確にして書く
- 2 根拠を明確にして書く
- 3 根拠を明確にして書く
- 4 スピーチや説明文を書く

話す・聞く

「話す・聞く」の学習の流れ

- 1 相手の立場から話し取る
- 2 相手の意見や感情を読み取る
- 3 相手の意見や感情を読み取る
- 4 スピーチや説明文を話す

学びの扉

「根拠を挙げて考えを述べる」

「根拠を挙げて考えを述べる」

「根拠を挙げて考えを述べる」

読む

「読む」の学習の流れ

- 1 読者の立場から読み取る
- 2 文章の構造や表現形式を読み取る
- 3 文章の意図や感情を読み取る
- 4 スピーチや説明文を読み取る

書く

「書く」の学習の流れ

- 1 根拠を明確にして書く
- 2 根拠を明確にして書く
- 3 根拠を明確にして書く
- 4 スピーチや説明文を書く

話す・聞く

「話す・聞く」の学習の流れ

- 1 相手の立場から話し取る
- 2 相手の意見や感情を読み取る
- 3 相手の意見や感情を読み取る
- 4 スピーチや説明文を話す

読む

「読む」の学習の流れ

- 1 読者の立場から読み取る
- 2 文章の構造や表現形式を読み取る
- 3 文章の意図や感情を読み取る
- 4 スピーチや説明文を読み取る

書く

「書く」の学習の流れ

- 1 根拠を明確にして書く
- 2 根拠を明確にして書く
- 3 根拠を明確にして書く
- 4 スピーチや説明文を書く